

【表紙】

| | |
|------------|---------------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成26年2月7日 |
| 【四半期会計期間】 | 第57期第3四半期（自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日） |
| 【会社名】 | セフテック株式会社 |
| 【英訳名】 | SAFTEC CO.,LTD. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長執行役員 岡崎 勇 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都文京区本郷5丁目25番14号 |
| 【電話番号】 | 03-3811-3188（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役兼執行役員経理部長 佐藤 雄考 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都文京区本郷5丁目25番14号 |
| 【電話番号】 | 03-3811-3188（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役兼執行役員経理部長 佐藤 雄考 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第56期 第3四半期連結 累計期間 | 第57期 第3四半期連結 累計期間 | 第56期 |
|---------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | 自平成24年 4月1日 至平成24年 12月31日 | 自平成25年 4月1日 至平成25年 12月31日 | 自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日 |
| 売上高(千円) | 5,547,885 | 6,025,911 | 7,420,541 |
| 経常利益(千円) | 102,367 | 260,249 | 234,580 |
| 四半期(当期)純利益(千円) | 44,196 | 146,047 | 128,541 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 52,894 | 177,834 | 160,965 |
| 純資産額(千円) | 3,412,021 | 3,637,998 | 3,520,092 |
| 総資産額(千円) | 8,744,447 | 8,907,682 | 8,823,887 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円) | 8.85 | 29.24 | 25.74 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円) | - | - | - |
| 自己資本比率(%) | 39.0 | 40.8 | 39.9 |

| 回次 | 第56期 第3四半期連結 会計期間 | 第57期 第3四半期連結 会計期間 |
|----------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 会計期間 | 自平成24年 10月1日 至平成24年 12月31日 | 自平成25年 10月1日 至平成25年 12月31日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 (円) | 17.73 | 31.25 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策や金融緩和等により引き続き企業収益の改善が見られ緩やかな景気回復基調で推移いたしました。一方で、欧州経済の低迷や新興国の成長鈍化、円安進行による商品、原材料等の価格上昇等の景気減速リスクもあり依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが関連する工事用保安用品業界におきましては、人手や材料不足による工事費用の上昇等で入札不調や着工遅れはあるものの、公共事業予算増加や補正予算執行により堅調に推移し、民間の設備投資も明るい兆しが見られました。

このような状況下、継続的な需要に応えるため商品購入やレンタルへの商品投入を適時に行い、また提案型営業の推進等に取り組み売上増加に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高6,025百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益242百万円（前年同期比82.1%増）、経常利益260百万円（前年同期比154.2%増）、四半期純利益146百万円（前年同期比230.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（東日本エリア）

当第3四半期連結累計期間において、東日本エリアの売上高は3,333百万円（前年同期比0.6%増）、営業利益は248百万円（前年同期比15.0%減）となりました。営業の状況としては、売上は前年同期比で、東北地区の伸びが鈍化したことと、前年発生した震災関連の特需なく微増でありました。利益面では既存のレンタル商品の回転が低下し、レンタル商品投入が増加したことにより減少いたしました。

（西日本エリア）

当第3四半期連結累計期間において、西日本エリアの売上高は2,692百万円（前年同期比20.4%増）、営業利益は227百万円（前年同期比203.3%増）となりました。営業の状況としては、売上は前年同期比で、すべての地区において増加し好調でありました。利益面でもレンタル商品が引き続き効率良く回転し、レンタル商品投入を抑制できたことにより増加いたしました。

(2) 財政状態の分析

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して83百万円増加し8,907百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金の減少44百万円、受取手形及び売掛金の増加264百万円、建物及び構築物の減少32百万円、リース資産の減少172百万円、投資有価証券の増加74百万円によるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して34百万円減少し5,269百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の増加75百万円、借入金の増加119百万円、未払法人税等の減少56百万円、リース債務の減少182百万円であります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産の部は、前連結会計年度末と比較して117百万円増加し3,637百万円となりました。この主な要因は、四半期純利益146百万円、配当金の支払59百万円、その他有価証券評価差額金の増加31百万円であります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における当社グループ全体の研究開発活動の総額は、284千円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 16,800,000 |
| 計 | 16,800,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年12月31日) | 提出日現在発行数(株) (平成26年2月7日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|-------------------------------------|----------------------------|------------------------------------|-------------|
| 普通株式 | 5,000,000 | 5,000,000 | 東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) | 単元株式数1,000株 |
| 計 | 5,000,000 | 5,000,000 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総 数増減数 (株) | 発行済株式総 数残高(株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増 減額 (千円) | 資本準備金残 高(千円) |
|----------------------------|-----------------------|------------------|----------------|---------------|----------------------|-----------------|
| 平成25年10月1日～ 平成25年12月31日 | - | 5,000,000 | - | 886,000 | - | 968,090 |

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

| 区分 | 株式数（株） | 議決権の数（個） | 内容 |
|----------------|----------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式（自己株式等） | - | - | - |
| 議決権制限株式（その他） | - | - | - |
| 完全議決権株式（自己株式等） | 普通株式 5,000 | - | - |
| 完全議決権株式（その他） | 普通株式 4,987,000 | 4,987 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 8,000 | - | - |
| 発行済株式総数 | 5,000,000 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 4,987 | - |

（注）「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式が911株含まれております。

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数（株） | 他人名義所有株式数（株） | 所有株式数の合計（株） | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％） |
|------------|---------------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| セフテック(株) | 東京都文京区本郷 5-25-14 | 5,000 | - | 5,000 | 0.10 |
| 計 | - | 5,000 | - | 5,000 | 0.10 |

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,224,489 | 2,179,934 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,171,801 | 2,436,443 |
| 商品及び製品 | 739,095 | 736,387 |
| 原材料 | 151,921 | 135,618 |
| 繰延税金資産 | 54,998 | 42,647 |
| その他 | 38,957 | 40,889 |
| 貸倒引当金 | 11,200 | 12,600 |
| 流動資産合計 | 5,370,063 | 5,559,321 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 770,661 | 738,408 |
| レンタル資産(純額) | 198,675 | 230,585 |
| 土地 | 1,407,326 | 1,407,326 |
| リース資産(純額) | 557,138 | 384,548 |
| その他(純額) | 17,593 | 16,950 |
| 有形固定資産合計 | 2,951,396 | 2,777,820 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 19,844 | 20,581 |
| 投資有価証券 | 332,450 | 407,000 |
| 繰延税金資産 | 22,282 | 21,323 |
| その他 | 147,308 | 142,386 |
| 貸倒引当金 | 19,459 | 20,751 |
| 投資その他の資産合計 | 482,582 | 549,959 |
| 固定資産合計 | 3,453,823 | 3,348,361 |
| 資産合計 | 8,823,887 | 8,907,682 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 896,571 | 972,546 |
| 短期借入金 | 1,631,000 | 1,885,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 300,000 | 460,000 |
| リース債務 | 237,006 | 180,121 |
| 未払法人税等 | 100,225 | 43,598 |
| 賞与引当金 | 61,702 | 34,972 |
| その他 | 202,664 | 237,233 |
| 流動負債合計 | 3,429,171 | 3,813,472 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,300,000 | 1,005,000 |
| リース債務 | 337,180 | 211,902 |
| 長期未払金 | 65,600 | 65,600 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 110,827 | 110,827 |
| 退職給付引当金 | 59,536 | 61,403 |
| その他 | 1,479 | 1,479 |
| 固定負債合計 | 1,874,622 | 1,456,211 |
| 負債合計 | 5,303,794 | 5,269,684 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 886,000 | 886,000 |
| 資本剰余金 | 968,090 | 968,090 |
| 利益剰余金 | 2,893,267 | 2,979,385 |
| 自己株式 | 1,556 | 1,556 |
| 株主資本合計 | 4,745,800 | 4,831,919 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 42,592 | 74,379 |
| 土地再評価差額金 | 1,268,300 | 1,268,300 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,225,707 | 1,193,920 |
| 純資産合計 | 3,520,092 | 3,637,998 |
| 負債純資産合計 | 8,823,887 | 8,907,682 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 5,547,885 | 6,025,911 |
| 売上原価 | 3,111,756 | 3,412,889 |
| 売上総利益 | 2,436,129 | 2,613,022 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,302,964 | 2,370,573 |
| 営業利益 | 133,164 | 242,449 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3,526 | 2,601 |
| 受取配当金 | 3,230 | 3,604 |
| 投資有価証券評価益 | - | 41,269 |
| その他 | 8,934 | 8,593 |
| 営業外収益合計 | 15,691 | 56,068 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 39,604 | 34,986 |
| 投資有価証券評価損 | 3,567 | - |
| その他 | 3,316 | 3,282 |
| 営業外費用合計 | 46,488 | 38,268 |
| 経常利益 | 102,367 | 260,249 |
| 特別利益 | | |
| 受取保険金 | 20,032 | - |
| 特別利益合計 | 20,032 | - |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 4,538 | - |
| 特別損失合計 | 4,538 | - |
| 税金等調整前四半期純利益 | 117,861 | 260,249 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 64,825 | 102,386 |
| 法人税等調整額 | 8,839 | 11,816 |
| 法人税等合計 | 73,664 | 114,202 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 44,196 | 146,047 |
| 四半期純利益 | 44,196 | 146,047 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 44,196 | 146,047 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 8,697 | 31,786 |
| その他の包括利益合計 | 8,697 | 31,786 |
| 四半期包括利益 | 52,894 | 177,834 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 52,894 | 177,834 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | - | - |

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日) |
|-------|--|--|
| 減価償却費 | 343,593千円 | 366,005千円 |

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成24年6月28日 定時株主総会 | 普通株式 | 59,940 | 12 | 平成24年3月31日 | 平成24年6月29日 | 利益剰余金 |

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成25年6月27日 定時株主総会 | 普通株式 | 59,929 | 12 | 平成25年3月31日 | 平成25年6月28日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 |
|-----------------------|-----------|-----------|-----------|-------------|---------------------------|
| | 東日本エリア | 西日本エリア | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,312,263 | 2,235,622 | 5,547,885 | - | 5,547,885 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 11,551 | 14,368 | 25,919 | 25,919 | - |
| 計 | 3,323,814 | 2,249,990 | 5,573,805 | 25,919 | 5,547,885 |
| セグメント利益 | 292,487 | 74,925 | 367,413 | 234,248 | 133,164 |

(注)1.セグメント利益の調整額 234,248千円は、全社費用のうち配賦の困難な費用であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 |
|-----------------------|-----------|-----------|-----------|-------------|---------------------------|
| | 東日本エリア | 西日本エリア | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,333,719 | 2,692,192 | 6,025,911 | - | 6,025,911 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 10,756 | 12,802 | 23,558 | 23,558 | - |
| 計 | 3,344,475 | 2,704,994 | 6,049,470 | 23,558 | 6,025,911 |
| セグメント利益 | 248,595 | 227,272 | 475,867 | 233,418 | 242,449 |

(注)1.セグメント利益の調整額 233,418千円は、全社費用のうち配賦の困難な費用であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) |
|---------------------|--|--|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 8円85銭 | 29円24銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(千円) | 44,196 | 146,047 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 44,196 | 146,047 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 4,994 | 4,994 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月7日

セフテック株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 稲垣 正人 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山崎 一彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているセフテック株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、セフテック株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。